

平成30年度 2学期末学校評価[児童・保護者]アンケート結果について(報告)

寒冷の候、保護者の皆様にはご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、2学期末のご多用の折に学校評価アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。その結果がまとまりましたので、下記のとおりご報告いたします。同様の内容につきまして、児童のアンケート結果についても、併せてご覧いただきたく、お知らせいたします。皆様からいただきました貴重なご意見を生かし、児童の様子をもとに、指導・改善してまいります。

つきましては、保護者の皆様には、今後も本校の教育活動の充実のために、ご支援とご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

なお、自由記述についてのまとめも後日配付しますので、併せてご覧ください。どうぞよろしくお願いいたします。

記

選択 4:そう思う 3:やや思う 2:あまり思わない 1: 思わない

数字は割合…%
平均値の最高は4

項目	番号	対象	質問内容	4	3	2	1	平均値	1学期との比較
学校生活	1	児童	学校のスローガンに向かって、できることを行っている。	65	30	5	1	3.58	-0.03
		保護者	学校のスローガンを意識して生活している。	17	54	27	3	2.84	0.09
	2	児童	学校生活を楽しく送っている。	76	18	6	0	3.67	0.00
		保護者	お子様は、安心して楽しく学校へ通っている。	58	36	5	0	3.54	-0.11
	3	児童	困ったときは先生に相談している。	45	37	16	2	3.30	0.20
		保護者	困ったときは、学校に相談している。	30	50	18	2	3.06	-0.05
	4	児童	地域の行事に進んで参加している。	46	36	13	4	3.34	0.14
		保護者	地域の行事やPTA活動に積極的に参加している。	38	51	8	2	3.29	0.07
	5	児童	学校での様子を家でよく話している。	55	25	13	6	3.32	-0.08
		保護者	ホームページや各種たより等で、学校の様子や取組を理解している。	29	57	13	1	3.16	-0.06
考察		<p>1の、学校のスローガン“元気・やる気・笑顔”については、少しずつ保護者にも浸透してきましたが、さらに啓発し、具体的な児童の行動を示していきます。</p> <p>2で、児童・保護者ともに、ほとんどが肯定的に「学校が楽しい」と回答しています。しかし、少数ですが、児童・保護者で否定的な回答をしているところに注目し、学校として今後さらに、一人一人の所属意識の実態を踏まえ、居がい感のある学級経営(学校経営)をしていきたいと考えます。</p> <p>3で、どの児童・保護者からも“信頼される”学校を目指し、さらに相談体制を充実させていきます。</p> <p>4は、地域の行事・PTA活動への関心を高めていけるよう、さらに啓発していきます。</p> <p>5で、学年だよりや学校だより等への掲載の仕方を工夫したり、ホームページを各担当者が更新する意識を高めたりして、さらに“開かれた学校”を目指して、情報を発信していきます。</p>							
項目	番号	対象	質問内容	4	3	2	1	平均値	1学期との比較
豊かな心	6	児童	友達やもの、自分を大切にできている。	76	18	5	1	3.70	0.11
		保護者	お子様は、思いやりの心が育っている。	40	55	5	0	3.35	0.03
	7	児童	夢や目標をもって、努力している。	73	20	6	0	3.71	0.06
		保護者	お子様は、夢や目標をもって、前向きに生活している。	33	53	13	0	3.22	0.03
	8	児童	学校や学級のきまりを守っている。	71	26	3	0	3.69	0.04
		保護者	お子様は、学校や学級のきまりを守って行動している。	39	53	7	1	3.32	-0.08
	9	児童	自分から進んで先生や友達、地域の人にあいさつをしている。	68	24	6	2	3.63	-0.04
		保護者	お子様は、進んで家族や地域の人にあいさつをしている。	33	56	10	0	3.28	0.10
	10	児童	なかよし班で協力して、清掃を無言で一生懸命取り組んでいる。	59	36	3	1	3.54	0.07
		保護者	お子様は、家でよく手伝いをしている。	24	46	26	3	2.95	0.09
考察		<p>8は、児童のほとんどが肯定的に回答していますが、保護者の数値が下がっています。児童の規範意識を高め、生活習慣の徹底を図っていくよう、手立てを工夫していきます。</p> <p>6・7・10については、数値の上昇が見られます。学校で行っている様々な体験活動が、日常の児童の言動等につながっていくよう、さらに指導をしていきます。</p> <p>9で、児童はほぼ変わりませんが、保護者の肯定的な回答が増えました。登下校時や来校者への「あいさつ」とともに、名前を呼ばれたときに一人でもはっきり「返事」をすることができるよう、継続的に指導をしていきます。ご家庭でも「あいさつ・返事」について話し合い、“あいさつの響き合う さわやかな西方地域”づくりにご協力ください。</p>							

～裏面もご覧ください～

項目	番号	対象	質問内容	4	3	2	1	平均値	1学期との比較
健やかな体と安全	11	児童	体育や休み時間には、元気に体を動かしている。	75	17	6	2	3.78	0.10
		保護者	お子様は、進んで体力づくりをしている。	36	39	22	4	3.11	0.06
	12	児童	手洗い・歯磨きを進んで行っている。	74	22	4	1	3.68	0.00
		保護者	お子様は、手洗い・歯磨きをきちんと行っている。	37	51	12	0	3.25	0.02
	13	児童	安全に気をつけて登下校している。	82	16	1	1	3.78	0.03
		保護者	お子様は、安全に気をつけて登下校している。	48	47	5	0	3.39	-0.05
	14	児童	火事や地震、不審者にあつたときどうすればよいか知っている。	89	10	0	1	3.88	0.07
		保護者	家庭で、災害時の対応について相談できている。	15	52	30	3	2.81	0.08
	15	児童	給食を、好き嫌いせずに残さず食べている。	71	2	9	6	3.58	0.21
		保護者	お子様は、毎日朝ご飯を食べている。	86	12	1	0	3.87	0.00
考察	<p>11・12について、数値としては上昇の傾向が見られますが、1学期と同様に、児童の肯定的な回答が非常に高く、保護者は不十分だと感じていることがうかがえます。体力づくりについては、2学期の学校行事(運動会・持久走大会)への取組の成果とも言えると思います。また、学校として「よい歯の優良学校コンクール」で栃木県知事賞をいただいたのは、学校歯科医である早乙女歯科医院の皆様のご指導と、ご家庭での日々の努力のおかげだと考えています。今後も、進んで体力づくり・外遊びに加え、徒歩による通学を奨励しながら、健康・体力づくりへの関心をさらに高めていけるよう、日常的に指導していきます。</p> <p>13・15は、児童・保護者のほとんどが、肯定的な回答をし、良好です。継続指導していきます。</p> <p>14については、1学期よりも上昇していますが、学校でおこなっている様々な訓練について、家庭での対応につなげていけるよう、さらに啓発の仕方を工夫していきます。災害時の対応について、家庭でのルールや約束事等を、確認し合うようお願いいたします。</p>								
項目	番号	対象	質問内容	4	3	2	1	平均値	1学期との比較
確かな学力	16	児童	授業は分かりやすい。	67	28	5	0	3.54	-0.02
		保護者	お子様は、学習内容を理解している。	29	57	14	0	3.18	0.10
	17	児童	授業中、自分の考えを発表したり、友だちの意見を聞いたりしている。	62	31	6	1	3.59	-0.03
		保護者	お子様は、進んで自分の考えを書いたり、話したりしている。	28	49	22	2	3.09	0.03
	18	児童	宿題や自主学習に意欲的に取り組んでいる。	52	35	12	1	3.39	-0.19
		保護者	お子様は、宿題や自主学習に進んで取り組んでいる。	28	47	22	3	2.98	-0.11
	19	児童	むずかしい問題にもあきらめず、最後まで取り組んでいる。	56	32	11	1	3.53	-0.03
		保護者	お子様は、難しい問題にもあきらめず、チャレンジしている。	20	48	27	5	2.87	0.06
	20	児童	進んで本を読んだり、読み聞かせを楽しんだりしている。	60	26	10	4	3.55	0.11
		保護者	お子様は、進んで読書をしている。	28	29	33	9	2.84	-0.06
考察	<p>児童の肯定的な回答は高いのですが、保護者のそれはある程度にとどまっています。しかも、1学期よりも下降している項目が多いことが懸念されます。特に18「宿題や自主学習に意欲的に取り組んでいる」という問いに否定的な回答が増え、平均値も下がりました。本校では、児童の自主学習ノートが使い終わると校長に直接提出し、資源物回収の収益金から新しいノートを1冊贈呈するという取組が定着してきて、自主学習への意欲高揚が見られますが、取り組み方の個人差が大きいことがうかがえます。児童の家庭での学習習慣については、個に応じためあて・内容の充実を図れるよう、指導をしていきます。これは、学校と家庭との連携が不可欠なので、家庭での声掛けや励まし、時間の確保や生活習慣の見直し等、今後ご理解とご協力をお願いいたします。</p> <p>また、16については、栃木市の『とち介の学び』をもとに、授業展開の工夫・授業改善を行っていますが、さらに「児童にとって分かりやすい授業」「学力の向上」を目指し、学校としてさらに研究に励み、努力していきたいと考えています。</p> <p>具体的に、17・19・20の取組は、今後も継続して指導していきます。学校では意図的に「考えを書いたり話したり」して自分の考えを表現する場を設定したり、「最後まで取り組む」「あきらめずにチャレンジする」ことができるよう、一斉指導の中で、個々の児童に応じた手立てを工夫し、より達成感のある支援・指導をしていきたいと思っています。</p> <p>そのためにも、児童の家庭での学習習慣・読書状況について、適確に実態を把握し、その子に合った指導の仕方での習慣づけを図りたいと考えます。</p>								